

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市男女共同参画推進センター エル・ソーラ仙台	
2 指定管理者	公益財団法人せんだい男女共同参画財団	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度 31,350人(※1)(前年度比102.4%)</li> <li>・令和2年度 30,616人(※2)</li> <li>・令和元年度 130,686人(※3)</li> </ul> <p>※1～※3 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための措置については下記①～⑧参照。          ①令和2年2月20日から令和3年9月30日までの予約について、感染拡大防止を理由に利用を取りやめた場合は施設使用料を全額返金。          ②令和2年3月5日から5月31日までの利用にかかる新規申込受付を停止。          ③令和2年4月10日から5月31日までの利用自粛を要請。          ④令和3年3月27日から5月11日までの利用にかかる新規申込受付を停止及び同期間の利用自粛を要請。          ⑤令和3年8月20日から8月29日までの20時以降の利用にかかる新規申込受付を停止及び同期間の利用自粛を要請。          ⑥令和3年8月30日から9月12日までの利用にかかる新規申込受付を停止及び同期間の利用自粛を要請。          ⑦令和3年9月14日から9月30日までの20時以降の利用にかかる新規申込受付を停止及び同期間の利用自粛を要請。          ⑧令和4年1月1日以降、感染拡大防止を理由に取りやめ手続きをした予約について、施設使用料を全額返金。</p>	
	<p>《事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の管理運営</li> <li>・男女共同参画関連情報の収集提供</li> <li>・各種相談の実施</li> <li>・男女共同参画に関する市民活動の支援及び交流の促進</li> <li>・大規模災害時における仙台市女性支援センターの運営</li> </ul>	
5 収支の状況	<p>《費用》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者に支払った費用 223,885千円(208,340千円)</li> <li>・その他市が負担した費用 108,953千円(101,864千円)</li> </ul> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用料収入 5,536千円(4,734千円)</li> <li>・その他収入 19千円(19千円)</li> </ul>	( )は前年度決算額
6 利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>①利用者アンケートの実施          令和3年11月11日から12月10日まで施設利用者に対してアンケート調査を実施し、アンケート結果及びサービス改善に対する提案・意見への回答を施設内に掲示した。</p> <p>②センター利用団体交流会の実施          「男女共同参画推進せんだいフォーラム2021」期間中に、センター利用団体同士の情報交換を促す交流会を実施し、利用者の意見を職員が聴き取った。</p>	

## 二 管理運営に係る評価(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的や施設運営上の基本方針に基づき、適切に管理運営されており、設置目的の達成に向けて、職員一人ひとりが事業企画や施設管理に反映できるよう、会議や研修の機会を通じて意識を共有している。また、館内の壁面や展示スペースを活用し、センターの事業や機能の紹介を常時行っているほか、男女共同参画推進への理解と関心を高めるための企画展示を随時行っている。また、利用者が公平・公正に施設を利用できるよう情報提供や受付を行うとともに、市民交流・図書資料スペースの運営や財団の市民活動サポート事業などを通して市民が自主的な活動を行うための支援や交流の場を提供している。	21/21

II 施設の運営管理体制	<p>職員の勤務状況、配置状況、施設の開館、指定管理料について適切に管理されているほか、イベント開催時や繁忙期も、施設運営や市民サービスに支障を来さないよう、柔軟な職員配置を行っている。情報セキュリティ対策では、記録媒体やデータの保管・管理を適切に行っているほか、内部研修によりすべての職員が個人情報保護について高い意識を持つよう努めている。また、事故発生時や非常時の体制も整備し、随時見直しを行っているほか、男女共同参画に係る施設の全国組織で運用する相互支援システムを活用し、災害時には全国の加入施設と連携、支援を行う体制を整えている。</p>	31/30
III 施設・設備の維持管理	<p>建物・設備・備品の適切な維持管理を行うとともに、清掃・警備等の委託業務についても、随時情報を共有しながら適切な管理を行っている。また、環境への配慮については、ブラインドの使用による冷暖房の効率化や窓際の消灯による節電を実施するとともに、利用者にはゴミの持ち帰りを呼びかけるなど積極的な対応を行っている。</p>	20/20
IV サービスの質の向上	<p>服装や身だしなみ、電話窓口対応など普段から適切な対応に努めており、姉妹館であるエル・パーク仙台との定期的なミーティングにより常にサービス向上のための情報共有を行っている。また、貸室の備品等について写真付きの資料を用意し、申し込みの際に提示しながら説明を行ったり、研修室内の音響・映像機器の操作マニュアルを見直し、よく使われる機能に絞り大きな文字と写真で簡潔に記載した簡易版を作成するなど、初めて施設を利用する方や操作に不慣れな方にも分かりやすいよう工夫を行っており、常に利用者目線に立ったサービスの提供に努めている。</p>	28/28
V 施設固有の基準	<p>施設の使用許可、使用料徴収や収納、還付事務等については規程類に従って適切に行われている。特にコロナ感染拡大に伴う施設使用料の還付の手続きについて利用者に対し個別に丁寧に対応を行った。図書資料の収集・提供・市民活動への支援及び交流の促進について積極的に取り組んでいる。相談事業については、関係機関と連携しながらニーズを把握し、様々な課題を持った相談者に対し重層的に支援を行った。就業自立相談では前年度を上回る7名を就業決定につなげるなど十分な相談実績をあげている。</p> <p>このほか、図書利用を促進するため、テーマを決めてピックアップした図書の展示や、事業と関連する図書をエル・パーク仙台でも貸し出せるようにするなど積極的な取り組みを行った。</p>	31/30

### 三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人せんだい男女共同参画財団）による自己評価》
<p>仙台市の男女共同参画推進の拠点施設として、エル・パーク仙台とともに2館で機能を分担し、センターの設置目的に則った管理運営を行っている。施設管理、市民交流・図書資料スペース運営、相談業務を協定書・仕様書に沿って円滑に実施するとともに、指定管理事業と財団自主事業等を連携させながら効果的に施設運営を行っている。</p> <p>(1) 施設管理及び市民交流・図書資料スペースの運営</p> <p>窓口での丁寧なニーズの聞き取りや分かりやすい説明をを心がけたほか、申請書類の書式や館内の案内表示を随時更新し、利用者の使い勝手を意識した施設運営を行った。また、毎月、保守点検日に課内会議やエル・パーク仙台受付担当職員とのミーティングを行い、サービス向上のための情報共有を図っている。利用者が安心して施設を利用できるよう新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じるとともに、施設使用料の還付について個別連絡や案内配布のうえ説明し、手続きの円滑化につなげた。</p> <p>図書利用を促進するため、毎月テーマを決めてピックアップした図書の展示、主催事業の実施会場での関連本の紹介のほか、エル・パーク仙台における図書資料の貸出を開始した。コロナ禍における施設の一部利用休止期間中も、登録団体が事前予約制で打合せスペース等を利用できるようにしたほか、施設ボランティアによるおはなし会を定員制で実施するなど交流の機会を提供した。</p> <p>(2) 男女共同参画推進に関する相談事業</p> <p>令和2年度に引き続きコロナ禍で、DVや経済的困窮、孤立やメンタル不全など困難な状況にある女性からの相談が多かったが、心情に寄り添い、丁寧に相談対応し支援情報等を提供した。コミュニケーションに悩む女性からの相談が多く寄せられていることから、新規事業として「“気持ちを伝える”ミニ講座」を企画実施するなど、相談から見える社会課題の解決に資する事業を開拓することに努めた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>エル・ソーラ仙台の管理運営にあたり、利用者の意見や要望を取り入れつつ、男女共同参画推進センターとしての市民活動支援、男女共同参画の推進に資する積極的な施設運営を行っている。また、図書資料等収集・情報提供事業については、主催事業や相談事業等と関連したテーマでの図書のピックアップや、事業と関連する図書をエル・パーク仙台でも貸し出せるようにするなど図書利用促進のため積極的に取り組んでいるほか、新たな利用者層の開拓に向けてInstagramやnoteを開設するなど、SNSによる情報発信も強化している。</p> <p>相談事業については、DVなど女性への暴力被害者への安全確保にも配慮した相談対応や自助グループ支援を継続して取り組んだ。また、関係機関と連携し、対象者の現状からニーズを把握し、就業自立相談や自立を目指す女性向けのキャリア支援事業につなげたほか、コミュニケーションに悩む女性が多いことを踏まえ、新規事業として「気持ちを伝える”ミニ講座”」を企画実施するなど困難な状況にある女性の自立支援の充実に努めている。また、文部科学省の実証事業として実施した「自立を目指す女性のための学び直しによるキャリア支援事業」においては、キャリア支援の中での学び直しが効果的であると実証することができ、令和3年に開催された日本生涯教育学会第42回大会において会長賞を受賞している。</p> <p>指定管理者として、関係する条例等の内容に基づき適切に施設の管理運営を行うだけでなく、日頃から地域の女性や団体、企業等とのネットワークを広げ、多様な主体と連携することで発信力を高めるなど、男女共同参画推進センターとしての役割を十分に果たしており、非常に優れた運営管理を行っている」と評価できる。</p>	S

**四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）**

特記事項	
働く場における女性の活躍推進事業	仙台市とともに実施している女性活躍推進事業では、「企業の未来プロジェクト」参加企業や女性リーダー育成プログラム修了者ネットワーク、経済団体等と連携し、在仙企業や仙台で働く女性たちのニーズを探りながら事業内容をブラッシュアップし続けている。また、子供未来局との共催事業を開催し、より多くの地元企業におけるワーク・ライフ・バランス推進を後押しする機会としている。企業向け出前講座の内容も時流の変化に合わせて更新しており、令和3年度からアンコンシャス・バイアスをテーマに加えた。
図書資料の利用促進、男女共同参画推進に資する情報の効果的な発信	図書資料スペースに所蔵する図書等の利用促進を図るため、毎月テーマを設けてピックアップした本の展示（エル・パーク仙台及びエル・ソーラ仙台で同時開催）、主催事業の実施会場での関連本の紹介のほか、エル・パーク仙台における図書資料の貸出を開始した。また、ピックアップ図書や主催事業と連動させ時宜を捉えたテーマで、男女共同参画に関する社会課題への理解と関心を高めるための企画展示を行った。財団設立20周年記念イベントの関連記事をタグ付けして拡散するなど、新たな利用者層の開拓に向け積極的にSNSを活用した。
市民交流・図書資料スペースをはじめとするセンターを活性化するための工夫	男女共同参画推進を目的としてセンターを拠点に活動している市民団体の活動を支援するため、貸室の先行予約や市民活動スペースの事前予約制度を設け、社会的活動への展開を後押ししている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う施設の一部利用休止期間中においても、市民活動スペースやワークステーションを事前予約制で提供した。
自立を目指す女性のための“学び直し”を通じたキャリア支援事業	平成30年度から令和3年度まで文部科学省の実証事業として、10代で十分な学びの経験を得られなかった女性を対象に、伴走型のキャリア支援と個別学習支援を行った。4年間の検証成果として、キャリア支援の中での学び直しが効果的であると実証することができ、令和4年度から仙台市の事業として実施している。

◎ 評価担当課（施設所管課）：市民局市民活躍推進部男女共同参画課